

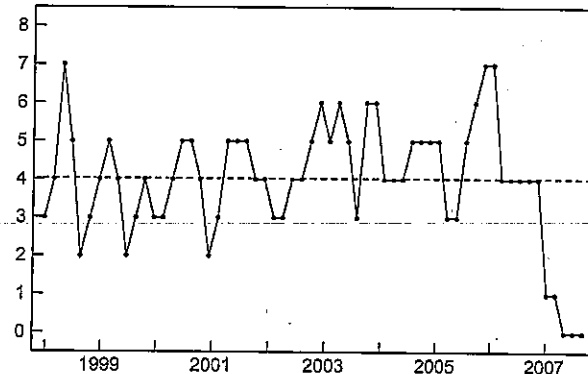
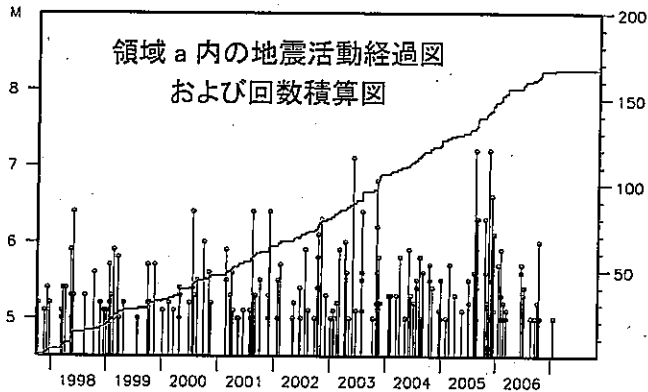
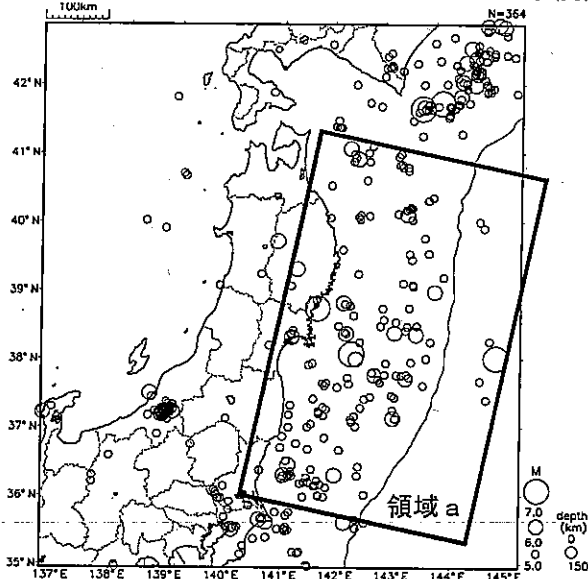
東北地方の地震活動の静穏化

東北地方の太平洋側で2007年以降静穏化 (M5.0以上)

2007年に入ってから、東北地方の太平洋側の地震活動が著しく低下している。

震央分布図には1997年10月以降のM5.0以上の地震をプロットした。このうち矩形で囲まれた領域では地震活動経過図で見るように、本年1月以降、M5.0以上の地震が全く発生していない状態が続いている。

震央分布図
(1997年10月以降、M \geq 5.0、深さ150km以浅)



地震活動指数

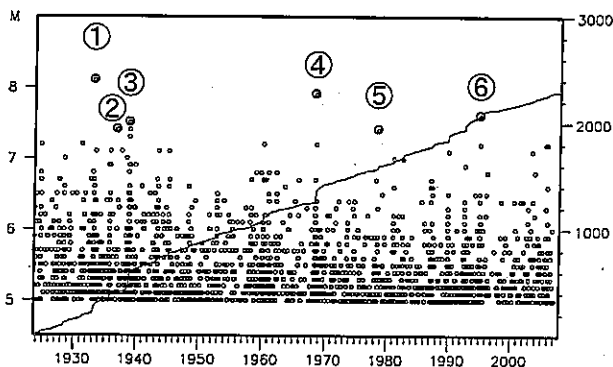
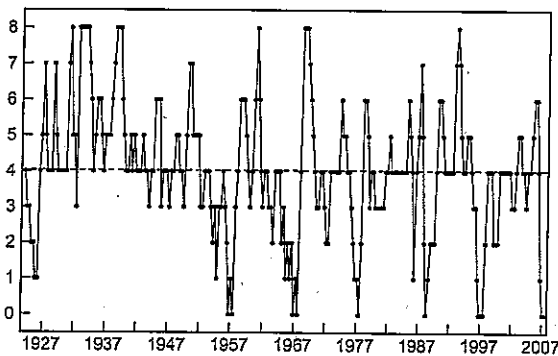
基準化: 1997.10~2007.1

120日間を60日ごとにプロット

(デクラスタ: dr=20km dt=20日)

1923年以降でみた場合

(上図領域a内、M \geq 5.0、深さ150km以浅)



この領域ではこれまでに、たびたびM7クラスの地震が発生している。1923年以降の主なもの (M \geq 7.3) は以下の通り。

- ①1933.03.03 昭和三陸地震 (M8.1)
- ②1936.11.03 宮城県沖 (M7.4)
- ③1938.11.5-6 福島県沖 (M7.5, 7.4, 7.3)
- ④1968.05.16 十勝沖地震 (M7.9)
- ⑤1978.06.12 宮城県沖地震 (M7.4)
- ⑥1994.12.28 三陸はるか沖地震 (M7.6)

このうち、発生直前に静穏化した (地震活動指数が0) 事例は、1968年十勝沖地震と、1978年宮城県沖地震の2例である。

上: 地震活動指数 (360日間を120日毎にプロット)

デクラスタ: dr=40km dt=40日

下: 地震活動経過図および回数積算図